

東海第二原発の 再稼働を許さない

11.18首都圏大集会

日本教育会館3F 一ツ橋ホール

岸田政権は、福島原発事故の反省もせず、被災者の苦難苦境を無視した棄民政策を続け、原発を最大限活用する推進政策を強行しようとしています。

東海第二原発の再稼働を止めるために、署名やアピール行動などの反対活動にみんなで取り組みましょう。

誰もが安心して暮らせる世の中にするために、
本集会への参加を心からお願い申し上げます。

いのちを守ろう 笑顔を守ろう



小出裕章 原子核工学博士
福島原発事故は終わっていません
原発は即刻廃止すべきです



鴨下美和 福島原発被害東京訴訟原告
原発事故は国の責任です。
原告が語る被害と理不尽



村上達也 前東海村村長
避難計画すら立てられない中での原
発再稼働の荒波にどう向き合うか

東海第2原発差止訴訟団報告



「ダキシメルオモイ」 小林 憲明



主催：とめよう！東海第二原発首都圏連絡会

車イス対応10台 手話通訳あり 定員802名

11月18日(土) 開場 13:00 13:30~16:00

集会終了後 **原発いらない！神田デモ行進**

前売り参加券 800円

当日券 1,000円

学生 500円

高校生以下の子ども
障害者 / 無料

問合せ先

とめよう！東海第二原発首都圏連絡 <https://stoptokai2-shutoken.jimdofree.com>

〒101-0061 千代田区神田三崎町 3-1-1 高橋セーフビル 1F たんぽぽ舎気付

電話：070-6650-5549 : 03-3238-9035 : (志田) 090-9309-6722

FAX: 03-3238-0797 E-mail: stoptokai2.shutoken@gmail.com

カンパをお願いします。ゆうちょ銀行：11330-18157531 : クボキヨタカ





講師プロフィール

小出裕章氏

東京生まれ。元京都大学原子炉実験所助教、原子核工学者。原子力平和利用に夢を抱き東北大学工学部原子核工学科に入学。原子力の危険性に気づき、放射線被害を受ける住民側に立ち活動が続ける。国と東電の収束工程シナリオを批判。「炉心がどこにあるかも分からず、今後も収束はできない」と指摘する。甲状腺がんにかかる子どもたちの事例が増えている現状を訴え、「日本人の大人には皆、原発事故に何らかの責任がある。子どもたちを守ろう」と呼びかけている。

鴨下美和氏

横浜市生まれ。2011年震災の翌朝、いわき市自宅から3歳と8歳の子どもを含む家族5人で避難。避難元が避難指示区域外とされたため、支援や賠償から外されて苦難の日々を送る。被ばく被害を無視軽視し、住民を守らない政府の責任追求と、被害に見合った賠償を求めて、福島原発被害東京訴訟の原告となる。ジュネーブなど国内外で原発事故被害を伝える活動を展開。

村上達也氏

茨城県那珂郡石神村(現東海村)生まれ。一橋大学卒。地元常陽銀行を経て1997年東海村長に就任。1999年のJCO臨界事故では、国や県の対応を待たずに、人命尊重の観点から独断で村民避難を行った。福島原発事故後は原子力撤廃の姿勢を鮮明にした。

小出裕章さんは、原発が安全でもなければ安くないことを、述べた上で日本が原発をやめられない理由を説明しています。

破たんしている原子力にしがみつ়く訳

- ① 利権構造に居座る原子力マフィアが存在
- ② 財政破綻し、依存体質にさせられる地方財政
- ③ 核兵器の製造能力を保持させたい国家の思惑。
- ④ 『2012年に原子力基本法が改訂され、第2条に「我が国の安全保障に資することを目的として」という一文が加えられた』ことを指摘。『1969年の外務省内部資料に「核兵器製造の経済的・技術的ポテンシャル(能力)は常に保持する。」と記されていた』と明かしている。

問題だらけで危なすぎる東海第二原発

東海第二原発は、運転開始44年を経た老朽施設で、地震で被災して傷んでいる危険な原発です。非難燃性ケーブル使用による火災の恐れ、トラブル頻発のずさん管理など、事故につながる問題満載の原発なのです。

30km圏内に92万人が住んでいて、被ばく無しの避難は不可能です。10万年以上厳重管理が必要な核のゴミが近隣に大量貯蔵され、核廃液貯蔵の再処理工場も隣接。冷却が止まるだけで複合災害が起きる恐れがあり、事故が起これば首都圏は壊滅的打撃を受け、国家が揺るがされるのです。

海側から見た東海第二原発



原発問題は難しくありません。

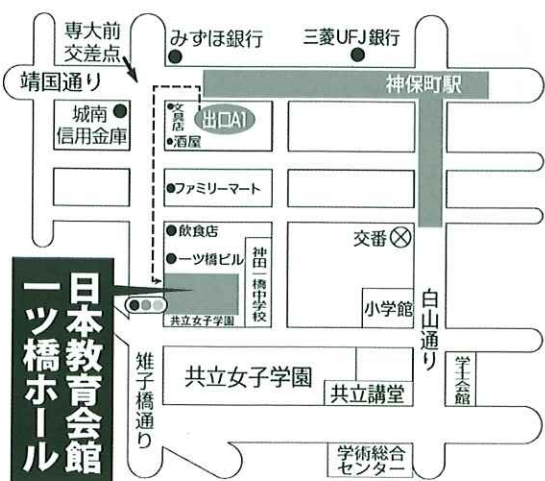
原発は、人が管理し続けられないといけないうことと、人の管理を外れた時の事故の被害の大きさが、人間の想像を絶する大きなものだということが問題です。重要なのはその2つだけです。

それから、地震の予知はできないということ。原発は耐震性が低いので、とてつもなく危ない。それが原発の運転を止めた理由です。

原発は、エネルギー問題で、環境問題でもありますが、私自身は、国防問題だと思っています。50数基も海岸沿いに並べてある原発の問題を、協においてする防衛議論も防災議論も、空理空論です。

元福井地裁裁判長 樋口英明氏談話 著書『私が原発を止めた理由』

原発を止めるために！署名活動をしています
HPから署名簿を印刷して、皆様もぜひ取組んで下さい。
<https://atcube8.main.jp/24>



会場周辺地図

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2

交通機関ご案内 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・三田線/神保町駅出口A